

【参考】 法定計画作成の手引き 記載事項

(※参考資料として配付し、会議での説明は行いません。)

【参考】法定計画における構成と留意事項

①計画の構成

○法定計画において必ず記載する必要がある項目と、可能な限り記載することが望ましい事項として前頁の通りであり、各項目の作成のポイントは下表の通り。

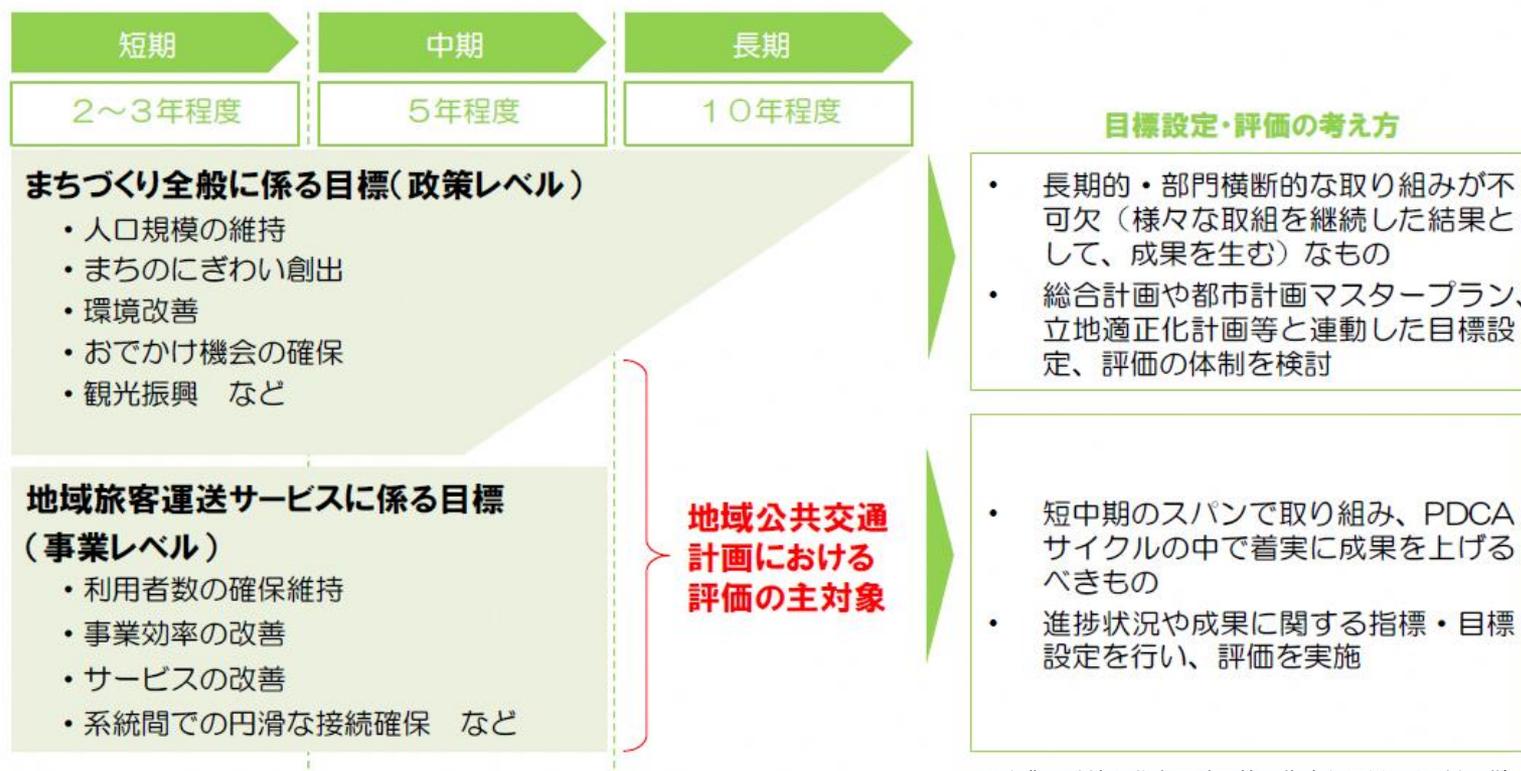
表 計画の構成と留意点

記載項目	作成のポイント(留意点)
1. 基本的な方針	<ul style="list-style-type: none">・地域が目指すべき将来像とともに、その中で公共交通が果たすべき役割を明確化した上で、公共交通の活性化及び再生に向けた取組の方向性を記載。
2. 計画の区域	<ul style="list-style-type: none">・住民の通勤、通学、買物といった日常生活に関して形成される交通圏を基本とし、個別・局所的にならないよう留意
3. 計画の目標	<ul style="list-style-type: none">・<u>可能な限り具体的かつ明確な目標を設定</u>する必要がある。・地域が自らの目指す方向性を<u>具体的な数値目標として明示</u>することが重要。・特に、地域公共交通の<u>利用者数</u>や<u>収支状況</u>、当該地域公共交通に投じられる<u>公的負担額</u>など<u>事業の効率性に関する指標</u>について、定量的に設定するよう努めるものとする
4. 事業・実施主体	<ul style="list-style-type: none">・計画区域における地域公共交通を一体的に計画の対象とした上で、目標達成のために提供されるべき<u>地域旅客運送サービスの全体像を明記</u>することが重要・<u>サービスの実現のために必要な事業・実施主体</u>を整理して記載。・事業については、<u>可能な限り具体的かつ明確に記載</u>。（施策・事業名、事業の概要、主なエリア、実施主体、実施時期等）なお、当面事業の実施の見込みがない場合にあっては、検討の方向性を記載。
5. 達成状況の評価	<ul style="list-style-type: none">・達成状況の評価時期は原則として、<u>毎年度、計画に定められた施策の実施状況に関する調査、分析及び評価を行う</u>こととする。・毎年度の定期的なフォローアップに加え、計画に位置づけられた各種事業の実施状況を適切に管理することも重要。
6. 計画期間	<ul style="list-style-type: none">・原則 5 年程度（計画目標や地域の実情等を踏まえ、柔軟な設定も可能）。・計画期間中又は計画期間終了時における計画見直しの手順等についても明示することが望ましい。

【参考】 目標設定・評価の考え方

①計画の構成（目標設定・評価のイメージ）

- 地域旅客運送サービスが交通以外の分野にも影響をもたらすことを踏まえて、まちづくり全般に係るものを目標とすることも可能である。
- ただし、そのような目標設定に限られてしまうと、効果の発現に長期間を要し、交通に関する分野における取組の成果を検証することが困難となる。
- 定期的な評価が必要であることも踏まえ、短期・中期での効果の発現が想定される地域旅客運送サービスそのものに関する目標を中心に、バランスよく目標を設定することが求められる。



【参考】 目標設定・評価の例

①計画の構成（目標設定・評価のイメージ）

○目標設定・評価の例は下記の通りであり、具体の目標と連動する指標を設定し、それらの指標をどのようなスケジュールで評価するかを計画において記載することが求められます。

目標設定・評価の例

公共交通計画の目標

1. 公共交通の利便性を向上させ、利用者を増加させる。

■指標1:公共交通利用者数

○人(××年) ⇒ ○人(△△年)

2. 持続可能な移動手段を確保するため、収支率の改善を図る。

■指標2:◆◆線の収支率

○%(××年) ⇒ ○%(△△年)

⋮

評価に関する事項

基本的な方針で定めた事業内容については、以下のスケジュールで評価

■指標1

6か月ごと協議会に、■■社、▲▲社が、自社のデータを基に報告

■指標2

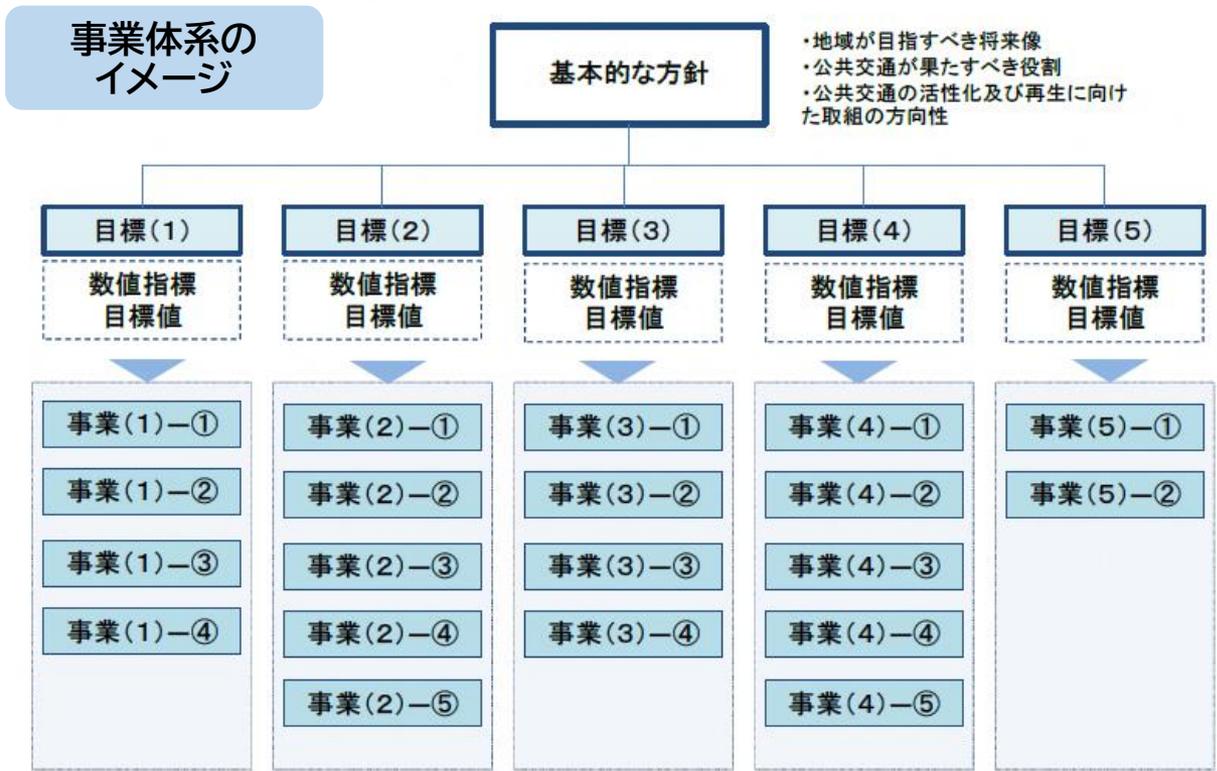
1年ごと開催する協議会に、▼▼市における「□□統計調査」に基づき報告

⋮

【参考】事業体系のイメージ

①計画の構成（事業体系のイメージ）

- 事業体系のイメージは下図の通りで、目標達成のために、考えられる地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する施策を抽出し、体系的に整理する。
- 抽出した事業メニューの中から、問題点・課題の緊急性・重要性、施策・事業の効果や実現性及び地域ニーズの反映といった観点から重要な事業を絞り込む。
- なお、選定した重要な事業を核として、これに補完する事業を組み合わせるパッケージ化することも、必要に応じて検討する。

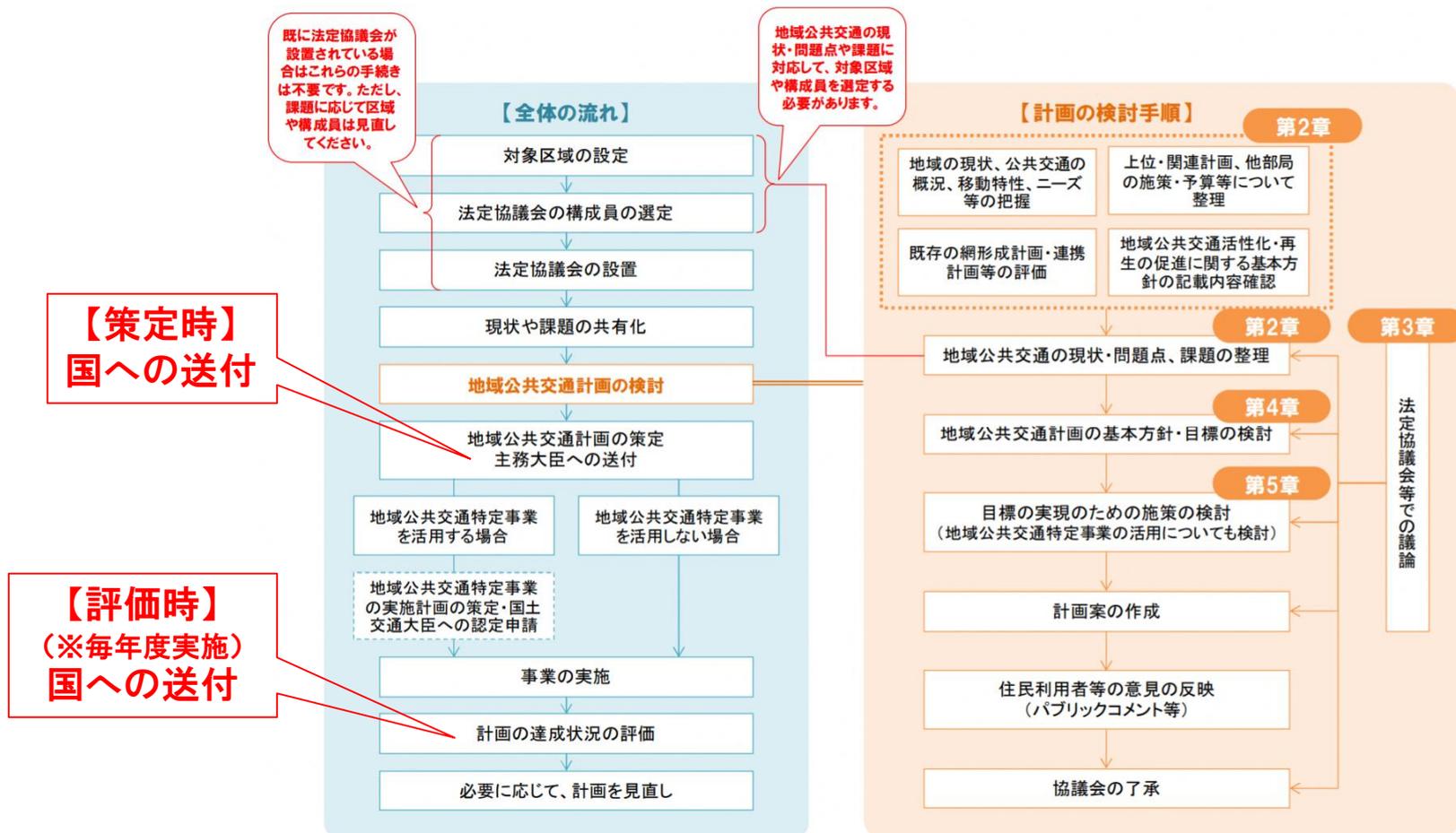


※出典：地域公共交通計画等の作成と運用の手引き（基本編）

【参考】計画策定後の手続きについて

②法定手続きについて

○計画策定時に国土交通大臣への送付を行う必要がある他、毎年度行うモニタリング・評価時においても各評価結果を国土交通大臣に送付することが求められており、継続的な協議会開催と検討を行う必要がある。



令和5年2月22日
川西市地域公共交通会議資料

大和地域の取組(2)



大和交通検討委員会

前回（令和4年1月17日）の報告概要

1. 大和地域の現状

◆世帯数 ◆高齢化率 ◆地域の特徴

2. 年齢別人口

3. 令和3年9月1日実施のルート変更とダイヤ改正

4. 地域の取り組み

◆バスだよりの発行 ◆バス乗車券の配布 ◆バス応援ポスター掲示 ◆バスの絵の展示
◆川柳の募集・掲示 ◆大和地域内のバスツアー ◆ハニカカードの出張販売

5. 利用者数調査

◆乗降者数の推移 ◆時間別利用者数

6. 地域の考え方

◆平日38便の存続 ◆大和地域等の環境変化 ◆川西市公共交通計画に沿って進めたい
◆公共交通をどう守るか（大和だけの問題ではない）

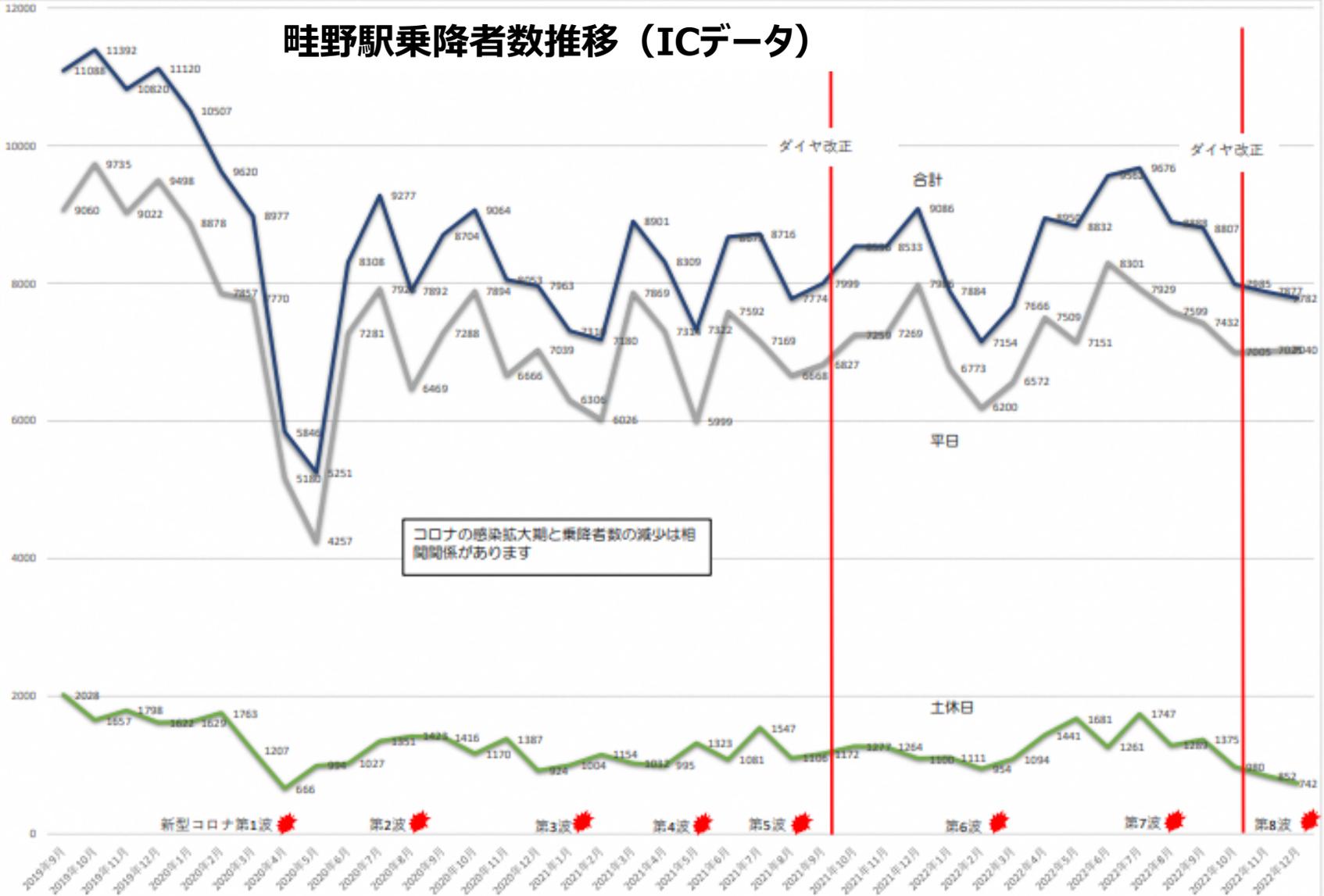
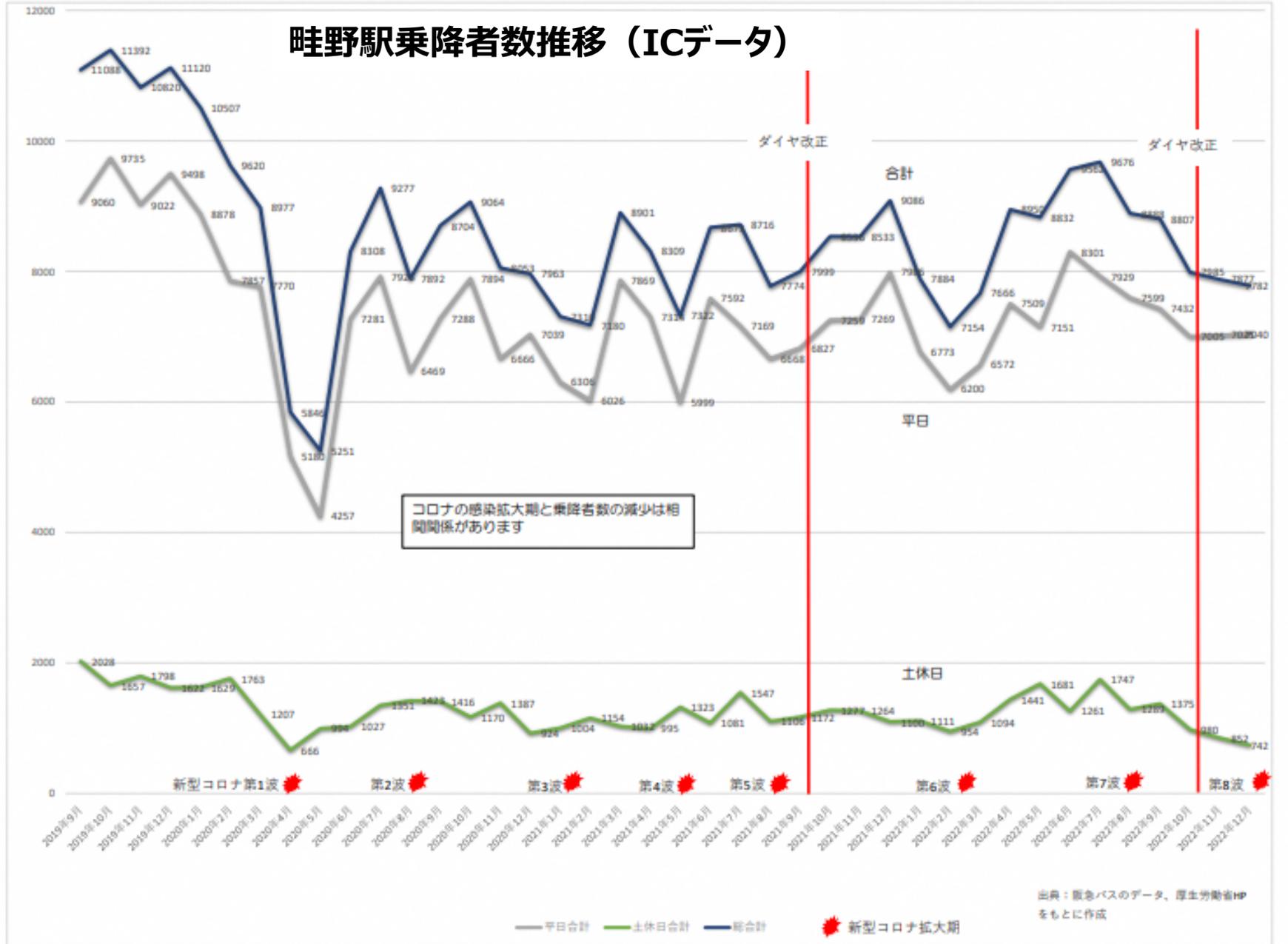
運行状況の推移

改正日		～令和3.8.31	令和3.9.1～		令和4.10.1～	
便数	平日	41便	38便	朝 2便減 夕 8便減 昼 7便増	38便	夕方 1時間待ちの解消
	土休日	21便	21便	変更なし	12便	午前・午後各3時間の空白
ルート		4ルート	2ルート	停留所2カ所休止	2ルート	平野山下間の分離 停留所1カ所休止
運賃		160円	160円		220円	60円（38%）値上げ
市補助金		約1,500万円	約1,500万円		約2,100万円 令和6年9月までの措置	

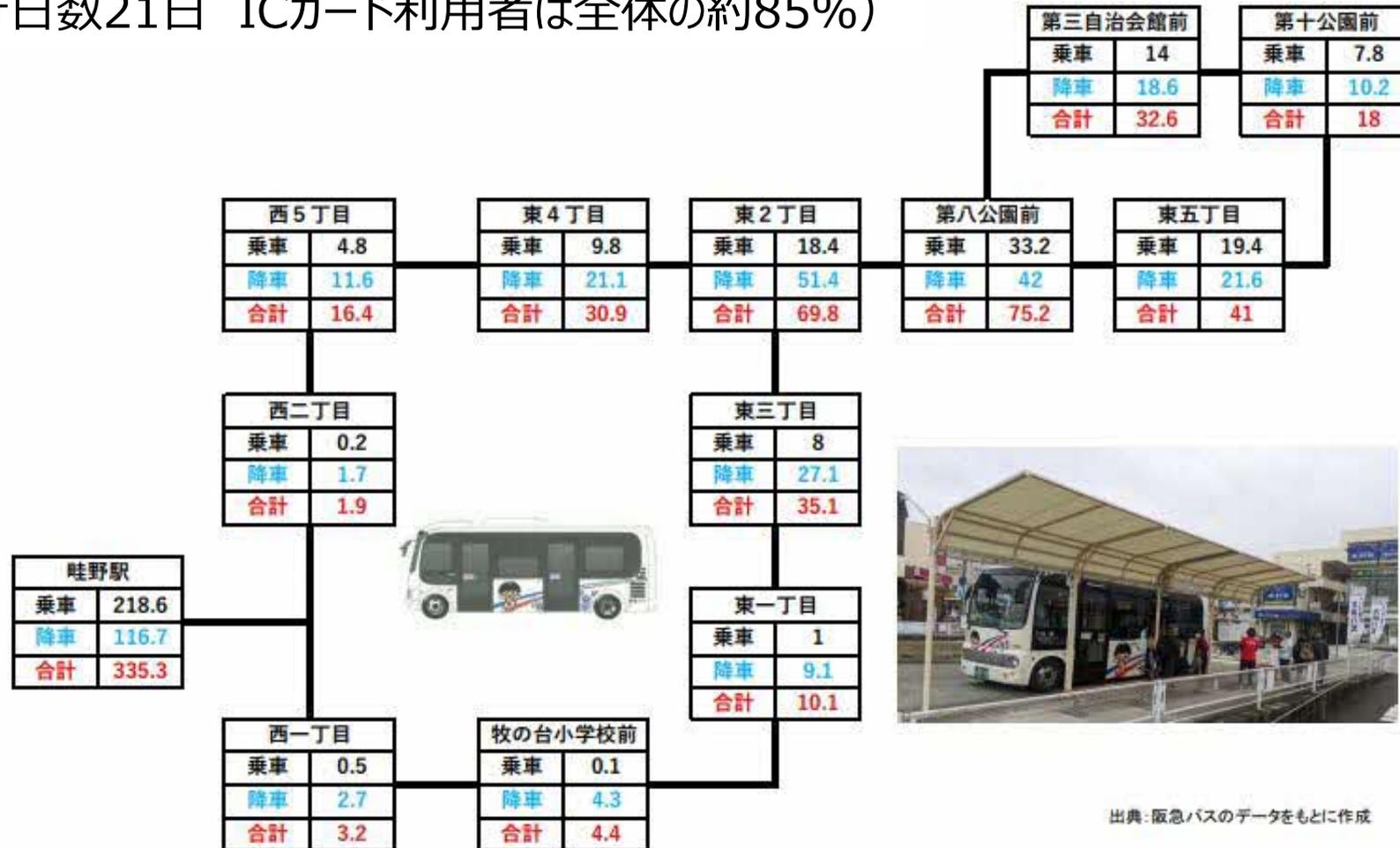
畦野駅乗降者数 (ICデータ)

	年月	平日合計	土休日合計	総合計
畦野駅	2019年9月	9060	2028	11088
畦野駅	2019年10月	9735	1657	11392
畦野駅	2019年11月	9022	1798	10820
畦野駅	2019年12月	9498	1622	11120
畦野駅	2020年1月	8878	1629	10507
畦野駅	2020年2月	7857	1763	9620
畦野駅	2020年3月	7770	1207	8977
畦野駅	2020年4月	5180	666	5846
畦野駅	2020年5月	4257	994	5251
畦野駅	2020年6月	7281	1027	8308
畦野駅	2020年7月	7926	1351	9277
畦野駅	2020年8月	6469	1423	7892
畦野駅	2020年9月	7288	1416	8704
畦野駅	2020年10月	7894	1170	9064
畦野駅	2020年11月	6666	1387	8053
畦野駅	2020年12月	7039	924	7963
畦野駅	2021年1月	6306	1004	7310
畦野駅	2021年2月	6026	1154	7180
畦野駅	2021年3月	7869	1032	8901
畦野駅	2021年4月	7314	995	8309
畦野駅	2021年5月	5999	1323	7322
畦野駅	2021年6月	7592	1081	8673
畦野駅	2021年7月	7169	1547	8716
畦野駅	2021年8月	6668	1106	7774
畦野駅	2021年9月	6827	1172	7999
畦野駅	2021年10月	7259	1277	8536
畦野駅	2021年11月	7269	1264	8533
畦野駅	2021年12月	7986	1100	9086
畦野駅	2022年1月	6773	1111	7884
畦野駅	2022年2月	6200	954	7154
畦野駅	2022年3月	6572	1094	7666
畦野駅	2022年4月	7509	1441	8950
畦野駅	2022年5月	7151	1681	8832
畦野駅	2022年6月	8301	1261	9562
畦野駅	2022年7月	7929	1747	9676
畦野駅	2022年8月	7599	1289	8888
畦野駅	2022年9月	7432	1375	8807
畦野駅	2022年10月	7005	980	7985
畦野駅	2022年11月	7025	852	7877
畦野駅	2022年12月	7040	742	7782

畦野駅乗降者数推移 (ICデータ)



令和4年12月平日（1日平均）のバス停別乗降者数
 （平日運行日数21日 ICカード利用者は全体の約85%）



出典: 阪急バスのデータをもとに作成

地域の取組

これまでの取組（令和2年12月～令和4年1月）

- 1.大和交通検討委員会設置
（コミュニティ協議会・自治会・福祉委員会等）
毎月2～3回開催 内1回は川西市・阪急バス出席
- 2.大和バスだより「発車オーライ」の発行
全戸（約4,500戸）配布 費用は地域住民の寄付
- 3.バス乗車券の配布 地域のイベント開催日
- 4.バス応援ポスターの掲示 地域内に600枚
- 5.バスの絵（地域内のこども園・保育所・小学校）の展示
バス車内・自治会館
- 6.バス川柳の募集 バス車内・自治会館に掲示
- 7.大和地域内のバスツアー 買い物・公園めぐり
- 8.利用者調査 月1回



その後の取組 (令和4年1月～)

- 1.大和交通検討委員会の開催
- 2.大和バスだより「発車オーライ」の発行
- 3.Tシャツ・のぼりの製作
- 4.勉強会の開催



5. 阪急バスによる バス教室の開催

令和4年11月6日
大和 cultura 祭・子どもカーニバル
参加人数 210名



7.利用者数調査 毎月実施

8.目標達成率の公表 自治会ニュースで毎月発表

●大和バスだより

月間目標 15,833人
12月の乗客数 10,704人
達成率68%



とにかくバスに乗ってください!!今、乗らなければ大幅減便が待っています。たくさんの方が困り、大和のまちが住みにくくなります。

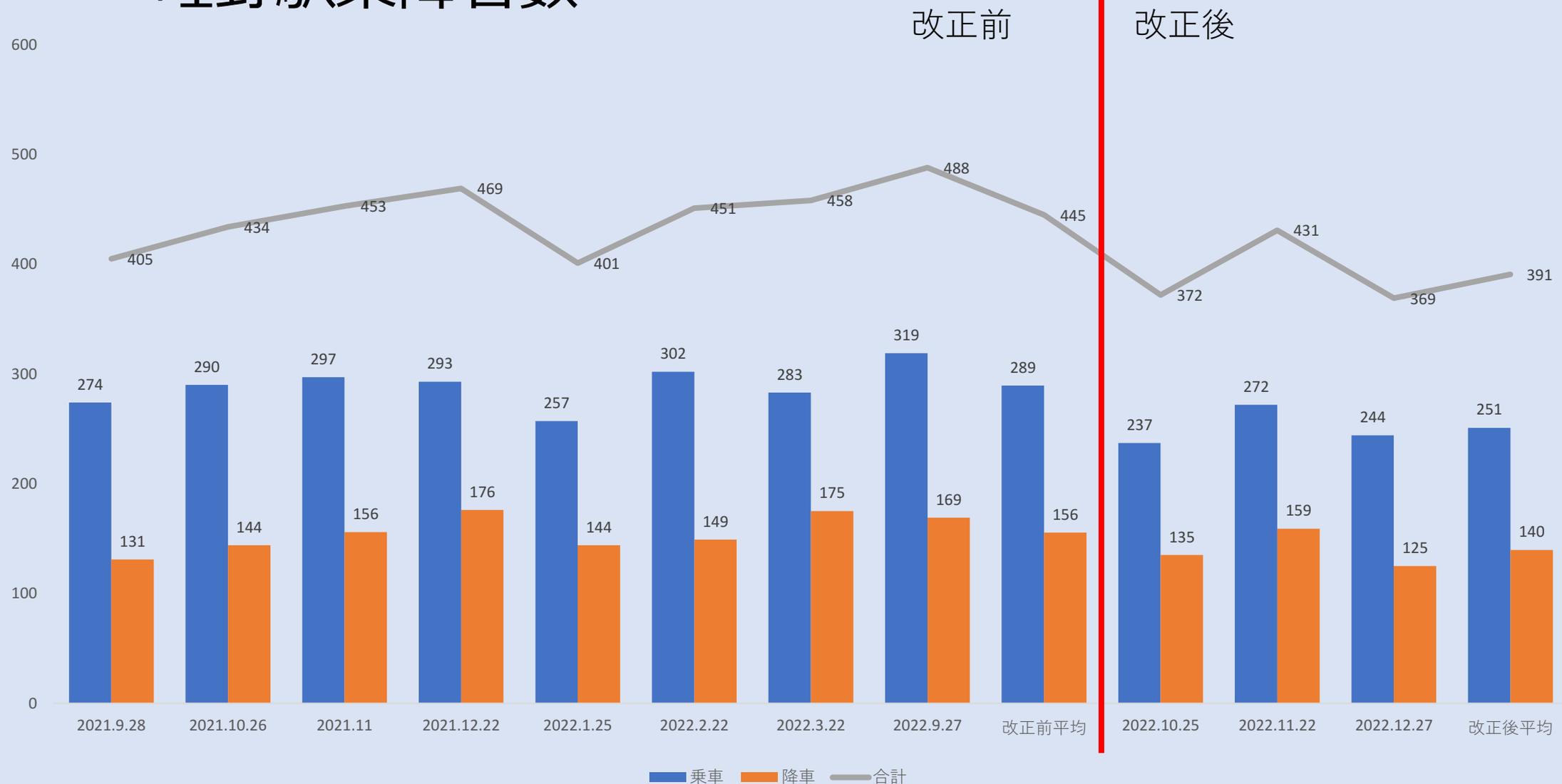
今、バスを利用している人も、利用していない人も「ひと月にもう1往復」のご乗車をお願いします。

【大和交通検討委員会】



地域による調査結果

畦野駅乗降者数



地域の考え方

1. 平日38便の存続と土休日12便の改善

新たな利用促進の取組

ルート変更・商店会との連携・体験乗車・イベント時の臨時バス・
バス無料デー・自治会での取組等

2. 評価基準項目の明確化

「まちづくりへの間接的効果」の具体化

川西市と地域の考えた方がかみ合わない

川西市・阪急バス・地域の三者で合意を目指すべき



地域の考え方

3. 環境の変化

近隣の物流施設の完成（石道 今秋）と進捗（舎羅林山）

駐輪場有料化（令和6年4月）

川西市による“北部地域まちづくり構想”

大和ハウス工業（株）による当地域の“再耕”

コロナの状況 物価高

4. 公共交通をどう守るか（大和だけの問題ではない）

川西市地域公共交通会議の部会的な会議による議論

市補助金のあり方

市民の生活をどう守るかの視点





発行/大和交通検討委員会

(事務局：牧の台会館内) 072-794-7699

令和4年10月からの大和バス運行について

令和4年10月が間近に迫り「10月から大和バスの運行はどうなるの?」と地域の皆さまから質問されることが多くなりました。大和交通検討委員会は「地域住民の生活を守るために必要な大和バス」という決して譲ることのできない一線を守りつつ、市、阪急バスと協議を進めてきました。

コロナという前代未聞の危機に直面し社会全体が大きく変わりつつある中、3月22日第3回川西市地域公共交通会議で市から下記の提案がされました。

令和4年10月からの大和バス運行について市の提案

- ① コロナ禍という事情を考慮し、令和4年10月以降約2年間は
平日38便・土休日12便で運行（ダイヤについては検討）
- ② 運賃は220円に値上げ

上記が6月末開催の第4回川西市地域公共交通会議に諮られる予定です。

地域として土日祝12便・運賃値上げについて「賛成とは言えないが、今後も平日38便で運行していくためにはやむを得ないことかもしれない」と判断しています。

今後の課題

コロナという特殊な状況を考慮し令和4年10月から約2年間は（2年後にはコロナも終息しているであろうという予測の下）平日は38便で運行されます。「この2年間でどう活動していくか」が、課題です。川西市地域公共交通会議では「市・阪急バス・大和住民が同じ方向を向き、互いができることを話し合い協力しあうことが必要だ」との見解が示され、三者が確認しました。

大和地域の今後の課題：大和バス運行様態の評価基準作成に向けて

- ・今建設中の大きな物流センターが完成したら大和に住む人が増えてバスに乗る人増えると思う
- ・駐輪場が有料になったらバスに乗る人が増えるかもしれない
- ・団塊の世代の人たちが免許証を返納し始めている、「返納したらバスに乗る」という人が多い
- ・もっと便利で多くの人々が利用するルートはないのか？
- ・土休日ダイヤ1日12便が適切か？利用実態調査を実施し検証する。
- ・220円に値上げしたら、乗る人が減るかもしれない・・・
- ・大和バスによる間接的効果とは？（例：高齢者の外出を容易にし、健康増進→医療費の削減）

等々を考慮し、大和バスの運行様態を決める評価基準を決めていきます。乗降者数や収支だけでなく、大和地域を取り巻く環境の変化、コロナによる社会の変化等を中長期的にとらえ、学識経験者の助言を得ながら市・阪急バス・地域が真剣に協議し、より良い評価基準の作成を目指します。

2月16日提出の請願書について報告



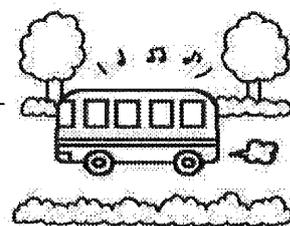
川西市議会久保議長あてに提出した「川西市公共交通基本計画に関する請願」は3月議会で「継続審議」になり、改めて6月議会で審議されます。

請願事項

- 1 川西市公共交通基本計画実現に向けた取り組みとして、川西市公共交通会議の復活又は、同会議の委員構成等に準じた新たな会議体を設置して地域公共交通実施計画の策定及びPDCAサイクルの進行管理を実施すること。
- 2 大和地区における地域公共交通機関を維持するために、地域としてもモビリティ・マネジメントの取り組みの強化など最大限の努力を惜しまないので、市としても大和地区における地域公共交通機関の維持のため、バス運行に係る川西市と阪急バスとの覚書を順守すること。

地域の思いは...一刻も早く学識経験者の知恵を借りて、日々私たちが悩んでいる諸問題を整理して前に進める体制作りが必要です。そのためにもしっかりした「会議体」の設置が必要だという認識で市と話し合いを進めています。

活動報告



- 2月22日** 畦野駅前バス調査（コミュニティ・大和自治会・福祉委員会）
2月25日 第45回 大和交通検討委員会 地域8人 西山議員
3月4日 3月議会建設常任委員会で請願趣旨説明：傍聴4人
3月8日 第46回 大和交通検討委員会 地域8人
3月10日 市担当課と打ち合わせ（令和4年10月以降の大和バスについて） 地域4人 市2人
3月14日 第47回 大和交通検討委員会 地域9人 西山議員
10日の市との打ち合わせについて地域で協議
3月18日 第48回 大和交通検討委員会 地域7人 西山議員
3月22日 第4回川西市地域公共交通会議 南野委員長オブザーバー出席：傍聴6人
4月5日 新年度に向け市と事前協議 地域5人 市5人
4月12日 第49回 大和交通検討委員会 地域8人 阪急バス3人 市5人 西山議員
4月16日17日 畦野駅前バス調査（土・休日）（コミュニティ・大和自治会・福祉委員会他）

令和4年度大和地域活動計画 <利用者増に向けた取り組み>

- ① 大和バスだより発車オーライ発行・バス利用促進活動
- ② 土休日畦野駅前乗降者数調査とダイヤの検討
- ③ 学識経験者の助言を得た評価基準の作成
- ④ 仮称：大和バス基金の創設について検討
- ⑤ ルートの再検討

募金のお願い



大和バスだより「発車オーライ」発行のための募金です。今年度も皆さまのご協力をお願いいたします。

編集後記：令和4年10月からのバス運行について市の方針が明確になりました。現時点では計画の段階で、正式に決定されるのは7月以降の予定です。詳細については第3回川西市地域公共交通会議の議事録をご覧ください（市HPまたは牧の台会館で閲覧可）今は1日も早くコロナが終息し自由に出かけられる日がくることを祈るしかありません。地域の皆さまには可能な範囲で、大和バスのご利用をお願い申し上げます。桜が終われば暑い日が多くなってきます。水分補給を心掛け元気にお過ごしください(^-^)

大和バスだより

発車オーライ!!

19号 (令和4年7月)



発行/大和交通検討委員会

(事務局：牧の台会館内) 072-794-7699

令和4年度 第1回川西市地域公共交通会議開催

(令和4年6月30日 午後2時30分～4時30分 於:アステ市民プラザ)

今まで何度も川西市公共交通会議(地交会議という)を傍聴しました。そして今回も「補助路線の持続可能なバス運行の検討について」という議題の中で大和バス問題が協議されました。

地交会議は法的拘束力のある会議でこの会議で承認されればそれに従って川西市の交通行政は進められます。もちろん大和バスも例外ではありません。

今回の地交会議では大和バスだより「発車オーライ18号」にも掲載しておりました2項目に加え「阪急バスの市内運賃220円が変更された場合は、それに合わせる。」という項目も承認されました。

令和4年10月からの大和バス運行について承認された事項

- ① コロナ禍という事情を考慮し、令和4年10月以降約2年間は
平日38便・土休日12便で運行
- ② 運賃は220円に値上げ
- ③ 阪急バスの市内運賃220円が変更された場合は、それに合わせる。

ダイヤ・運賃の変更で令和4年以降の収支差は21,204千円と試算。市はコロナ終息までの2年間補助金を21,204千円として計上する予定です。(令和4年度補助金は6月議会で可決されました)

地域の素朴な疑問と感想 (公共交通には素人の市民の率直な傍聴の感想とご理解ください)

「コロナという特殊な状況を考慮し令和4年10月から約2年間は平日38便土休日12便・運賃は220円で運行される」「2年間は大丈夫なんだ」と言う思いで地交会議の傍聴に行きました。

肅々と進む会議「阪急バスの市内運賃220円が変更された場合は、それに合わせる」ということが提案、承認され

「へえ?! 阪急バスが運賃値上げを発表すれば、大和バスの運賃も自動的に値上げされるってこと??? 知らなかった~」「こんなこといつの間に決まったのだろうー」と思いました。

地交会議には牧の台コミュニティからオブザーバーとして出席していますが、自由に意見を述べることのできる委員ではなく、当然賛否に参加できるものでもありません。

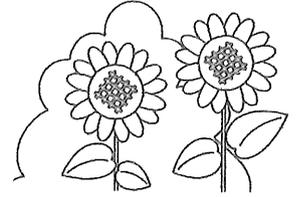
地交会議に市が提案する事項はそれまでに地域でも十分検討されるものだという認識でしたが、地域が置き去りにされて、議事が進んでいるような、残念な気持ちになりました。

会議の中で再々「大和地域が今後もバス問題に取り組むことが必要」という発言がありました。

大和の今までの活動を評価する一方で、市に対して「第6次川西市総合計画(令和6年度~13年度)の市の大きな方向性6項目達成に公共交通の役割は不可欠で、それなりの予算措置はあるべき。国も公共交通に対して様々な補助金を用意しているので活用すべき。今後大和のバスへの取り組みがちゃんと進まないことになれば、川西市の公共交通の未来はない」と言う厳しい発言もありました。

2月16日提出の請願書について報告

川西市議会久保議長あてに提出した
「川西市公共交通基本計画に関する請願」は取り下げました。

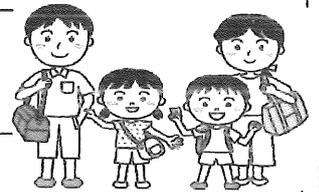
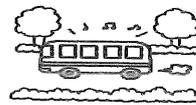


請願事項

- 1 川西市公共交通基本計画実現に向けた取り組みとして、川西市公共交通会議の復活又は、同会議の委員構成等に準じた新たな会議体を設置して地域公共交通実施計画の策定及び PDCA サイクルの進行管理を実施すること。
- 2 大和地区における地域公共交通機関を維持するために、地域としてもモビリティ・マネジメントの取り組みの強化など最大限の努力を惜しまないので、市としても大和地区における地域公共交通機関の維持のため、バス運行に係る川西市と阪急バスとの覚書を順守すること。

取り下げ理由：請願事項について「①市議会議員（26名）に賛否両論があり、採択（賛成）される見通しがはっきりしない」「②3月に川西市・阪急バス・地域が同じ方向に向かって協議することを確認した」「③コロナ禍による利用者減の収支差を市が2年間支援する（補助金の増額）」以上の理由により5月27日付で請願は一旦取り下げました。今後の進捗状況により、再度提出することも考えられます。

活動報告



- 4月26日** バスだより発車オーライ 18号印刷(ポスティングは福祉委員会)
5月10日 第50回 大和交通検討委員会 地域8人 阪急バス3人 市5人 西山議員
5月20日 第51回 大和交通検討委員会 地域6人 西山議員
6月14日 第52回 大和交通検討委員会 地域7人 阪急バス3人 市3人
6月19日 畦野駅前バス調査(コミュニティ・大和自治会・福祉委員会)
6月24日 第53回 大和交通検討委員会 地域7人
6月29日 第54回 臨時大和交通検討委員会(地交会議打ち合わせ) 地域8人 西山議員
6月30日 川西市地域公共交通会議 南野委員長オブザーバー出席：傍聴3人

ご意見箱から：5月31日に運賃220円に値上げに反対するご意見をいただきました。

「値上げせず減便し、住民へのアンケート実施を！」とのご提案です。値上げに反対のご意見は今回が初めてです。昨年市はバス乗客者へ運賃についてアンケートを実施しています。平日41便⇒38便・土休日21便⇒12便という大幅減便に加え、運賃が220円になることにもろ手を挙げて賛成できません。が、すでに6月30日地交会議で運賃・便数それに加えて今後の値上げについても承認されました。皆さまにはできるだけ早く情報をお伝えし、いただいたご意見は市や阪急バスとの会議でも「住民の意見」として協議しています。牧の台会館・自治会館・安プラにご意見箱があります。いろんな意見があることが大事だと考えています。

編集後記：コロナとウクライナでの戦争で、私たちの生活が厳しさを増す中、バス運賃の値上げも仕方ないと思うものの、40%近い値上げは大変厳しいものです。また土休日ダイヤ21便が12便に減便されれば困る人もいます。公共交通全体が大変厳しい状況の中、畦野駅前乗降者数調査を繰り返し、大和のまちづくりの観点から平日38便は絶対に必要だと考えています。皆さまのご乗車が、大和バスの今後を決めることとなります。どうぞ皆さまのご乗車をお願いします。

募金のお願い



大和バスだより「発車オーライ」発行のための募金です。

バスポスター掲示ご協力感謝！！
劣化したポスター等ありましたら
撤去にご協力をお願いします。

大和バスだより

20号 (令和4年10月)

発車オーライ!!



発行/大和交通検討委員会

(事務局：牧の台会館内) 072-794-7699

10月から新ダイヤ・新ルート・新運賃での運行開始!!

- ・ 畦野駅～山下駅間の運行休止（大和西三丁目停留所休止）
- ・ 土休日ダイヤの大幅減便 21便⇒12便（不便になりました）
- ・ 平日大和循環バスタ方ダイヤ変更（便利になりました）
- ・ 運賃が220円に！（40%の値上げは厳しい）

コロナ禍とウクライナ戦争という想定外の世界情勢の中、大和バスも厳しい状況にあります。1万人が住む坂道の多い大和にバスは生活必需品です。

その観点から市と交渉を重ね、議会に足を運び、どうかこうにかコロナ禍での特別措置（2年間）として補助金の増額（1500万円⇒2100万円）が議会で承認され、今回の運行に至りました。今後は年間乗客数19万人、1台当たり18人の乗車が目標です。

もし、乗客数が目標に届かなかったら、私たちは厳しい状況に追い込まれることでしょう。大和交通検討委員会の役割は皆さんがバスに乗っていただけるよう環境を整えることですが、19万人を達成するには、住民が一丸となって「バスに乗る」ことしかありません。

1年1年がとても大切です。

更なる大幅減便でもよいのか？ 現行の便数を守りたいのか？

住民一人一人に問われています。

大和交通検討委員会は現行の便数を守ることを目標にして活動しています。

皆さんが「バスに乗る」という行動を起こしていただけるよう心よりお願いいたします。

大和バス目標(令和4年10月～令和5年9月末)

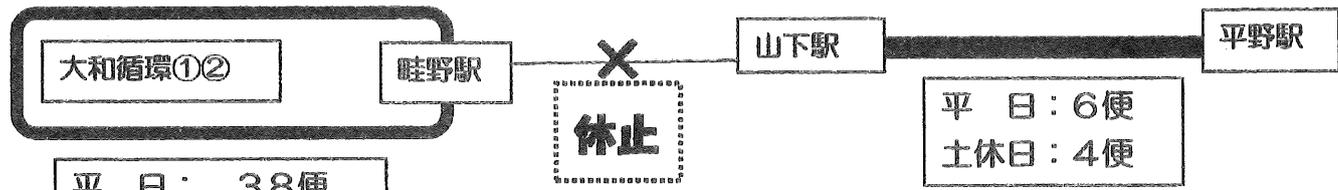
年間乗客数目標 **19万人**(大和循環+山下駅～平野駅100番系統)

どのバスにも **18人/台** 乗らなければ**38便**は維持できません

解説：畦野駅～山下駅の運行廃止・土休日ダイヤの大幅減便・運賃の値上げ等市が「川西市地域公共交通会議」に提案し、全て承認、今回の運行に至りました。「川西市地域公共交通会議」は拘束力のある会議で、私たちは初めてこの会議を体験しました。地域の思いをこの会議に反映させることの難しさ、歯がゆさを痛感しています。「値上げと大幅減便」これしか方法がなかったのか？もっと検討の余地があったのではないか・・・思いは様々です。今回の体験を次に生かせるよう勉強し努力するしかありません。

これが補助路線です。平日 38 便+6 便=44 便

土休日 12 便+4 便=16 便



平日: 38便
土休日: 12便
運賃: 220円

現行ダイヤ平日44便・土休日16便の運行を維持するために
年間19万人の乗車が必要です!!



解説: 年間19万人の乗車を達成できなければどうなるのか? 市が大幅減便を「川西市地域公共交通会議」に提案するかもしれません。19万人? この数字を目標値に定めた根拠は何だろう? 山下駅~平野駅(平日6便土休日4便)の乗客数も含めて19万人達成。コロナ禍の19万人... 検証が必要です。

活動報告

- 7月12日 第54回 大和交通検討委員会 三者合同会議(地域・阪急バス・市)
- 7月26日 愛媛大学松村教授「MM教育」の研修会傍聴(於: アステホール)
- 7月29日 第55回 大和交通検討委員会 地域
- 8月8日 第56回 大和交通検討委員会 三者合同会議(地域・阪急バス・市)
- 8月26日 第57回 大和交通検討委員会 地域
- 9月5日 第58回 大和交通検討委員会 地域
- 9月6日 第59回 大和交通検討委員会 地域
愛媛大学松村教授と懇談(テーマ: 大和バス 今後の活動について)
- 9月13日 第60回 大和交通検討委員会 三者合同会議(地域・阪急バス・市)
- 9月16日 第61回 大和交通検討委員会 地域
- 9月27日 畦野駅前バス調査(コミュニティ・大和自治会・福祉委員会)
- 10月1日 バスだより 発車オーライ!! 20号発行(ポスティングは福祉委員会)

お得情報!! グランドバス(高齢者定期券)や通勤定期でお得にバスに乗りましょう!!

グランドバス65/70(65歳以上定期券)が断然お得です。例: 3カ月定期 14,100円(65歳~69歳) 1日当たり157円。70歳以上なら3カ月定期 13,400円 1日当たり149円。阪急・阪神バス利用可。阪急バス通勤定期券もお得! 220円区間なら阪急・阪神バス利用可。本人以外の利用もOK。土休日家族一緒なら大人100円小学生以下は無料!! パンフレットは牧の台会館、第1・第2自治会館まで!!

新時刻表ができました。牧の台会館、第1・第2自治会館にあります。ご利用ください。

大和バスポスターについてお願い: ポスター掲示にご協力いただきありがとうございます。劣化したもの、汚くなっているものについては撤去・廃棄のご協力をお願いいたします。

募金のお願い
大和バスだより「発車オーライ」発行のための募金です。

編集後記: これからの2年間、1日たりとも無駄にすることはできません。正念場です。9月6日愛媛大学松村教授においでいただき、今後の活動について貴重なご指導、ご助言をいただきました。大和交通検討委員会がしっかり情報発信し、オール大和で大和バス問題に取り組むことの大切さを改めて確認しました。「年間乗客数19万人」がこの1年の目標です。220円の値上げにめげず、皆さまのご乗車をお願いいたします。

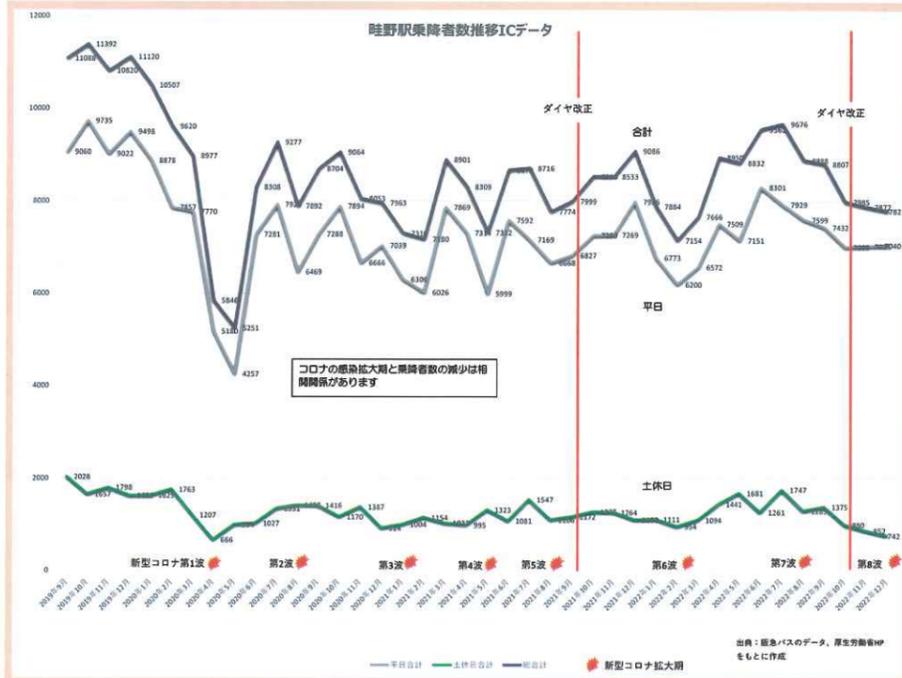


- 10月11日 第62回 大和交通検討委員会 地域
- 10月25日 畦野駅前バス調査 (コミュニティ・大和自治会・大和地区福祉委員会)
- 10月28日 第63回 大和交通検討委員会 地域
- 11月 6日 大和文化祭 阪急バス「乗り方教室」「安全教室」開催
- 11月 8日 第64回 大和交通検討委員会 三者合同会議 (地域・阪急バス・市)
- 11月22日 畦野駅前バス調査 (コミュニティ・大和自治会・大和地区福祉委員会)
- 11月25日 第65回 大和交通検討委員会 地域
- 12月13日 第66回 大和交通検討委員会 三者合同会議 (地域・阪急バス・市)
- 12月23日 第67回 大和交通検討委員会 地域
- 12月27日 畦野駅前バス調査 (コミュニティ・大和自治会・大和地区福祉委員会)
- 1月10日 第68回 大和交通検討委員会 三者合同会議 (地域・阪急バス・市)
- 1月20日 第69回 大和交通検討委員会 地域
- 1月27日 第70回 大和交通検討委員会 地域・市
- 1月28日 畦野駅前バス調査 (コミュニティ・大和自治会・大和地区福祉委員会)
- 2月14日 第71回 大和交通検討委員会 三者合同会議 (地域・阪急バス・市)

大和文化祭(11月6日) 阪急バス 「乗り方教室」 「安全教室」大盛況!



バスを身近に感じる
とてもいい機会になりました。



大和交通検討委員会は毎月畦野駅前乗降者数調査を実施、コロナと乗降者数の関係が顕著です。

募金ご協力をお願い!



募金箱をコープ畦野店に設置しました
大和自治会館・牧の台会館にも募金箱あります!!

〈編集後記〉

今年になって10年に1度という寒波襲来で大和も銀世界が広がりました。阪急バスは大雪の恐れがあるときは、翌朝の運行に備えバス道の点検、融雪剤を散布するなど深夜からその準備に追われます。地球温暖化で今後大雪を心配する声があります。バスがあるから雪の日の外出も安心です。バスがあるから安心して生活できる大和です。
「雪の日も大和バスがあるから安心!! 阪急バスさん、これからもよろしくお願いします!!」

～ 発車オーライ 21号配布は大和地区福祉委員会の皆さまにご協力いただきました ～

発車オーライ!!



発行/大和交通検討委員会(事務局: 牧の台会館内)072-794-7699

大和西丁・東丁すべての皆さま
そして、大和バスを利用していない皆さま

バスご利用の緊急のお願い!!



平日38便を守るために、19万人の乗車が必要です。
ひと月にもう1往復のご乗車をお願いします。

平日が24便や12便になってもいいですか?

始発が遅く、終バスが早くなってもいいですか?

平日にバスのない時間帯が3時間あってもいいですか?

大和バスは瀬戸際に立っています。

1,000人がひと月にもう1往復すれば24,000人/年の増加です。

大和バスは令和4年10月から平日38便・土休日12便・運賃220円で運行、令和6年10月以降は未定

まさかなくなるなんて。
公共交通は小さな子供からお年寄りまで、誰もが利用できるサービスです。そんな「あって当たり前」だった公共交通が「消える」かもしれません。

公共交通は、誰もが安心して利用できるサービスです。公共交通は、誰もが利用できるサービスです。公共交通は、誰もが利用できるサービスです。

38便の時は自由に外出できてよかったなあー

バスが減便されるなんて!こんなに困ると思っていなかった

けがをするまでバスはいらないと思っていた...

バスは免許証のない私たちの大事な足よ!

「本当になくならないと思ってなかった」
なくなってから慌てても手遅れです。
乗らなければ なくなります...
そして、失ったものは取り戻せません。

返納

「大和バス井戸端会議」開催!!



昨年末から各丁目単位でミニ集会形式の「大和バス井戸端会議」を開催
大和バスだより「発車オーライ」ではお伝えしきれない「大和バスの危機的状況」をお話しし、皆さんから大和バスへのご意見やお話をお聞きし、今後の活動に生かしていきます。

○土休日のダイヤの減便はひどすぎる。どうしてこんなことになったの？
○土休日3時間バスのない時間帯が2回もある。
せめて1時間に1便走らせてほしい



★土休日ダイヤ:21便⇒12便になりました。大和バスで減便が実施されると超大幅減便になってしまいます。(運転士さんをひとり減らす前例のないような大幅減便)土休日は運転士さんひとりで運行しています。安全運転のために休憩の時間も必要です。3時間の空白は運転士さんの車庫までの移動、休憩時間です。

○東1丁目住民はバスに乗りたくても乗れない。ルートを変えてほしい。牧の台小学校の東側(2車線道路)を走ってほしい。
○ルートを変えれば乗る人は絶対増える。
○住民の高齢化で移動が困難になり困っている。以前はバスが家の前を通ることに反対だったが今はバスを利用したいと強く思っている。ルートの変更をお願いしたい。
○停留所の新設に協力する。ぜひルートの変更をお願いしたい。



★当初、大和バスは牧小の東側(2車線道路)を走るルートで計画されていました。しかし沿線の皆さんが反対の署名を市に提出、そのために牧小の西側を走るルートになりました。牧小東側にルートを変えるためには、東1丁目住民の皆さんの意思表示と合意が必要です。そして次に停留所の新設ができればルートを変えることは可能です。法的手続きや準備等に相当な期間が必要です。大和交通検討委員会は東1丁目の皆さんの意思表示と合意があれば、市・阪急バスと協議します。

○土休日ダイヤの日は「年寄り外出するな!」ということか!?
○土休日ダイヤの日が多くて買い物が不便になった。
○土休日の外出を控えるようになり、気分が憂鬱
○土休日終バスが早く、タクシーを呼んでも1時間待ちと言われた。(高齢者が)歩いて帰るのには困難、土休日はでかけなくなった。
○帰宅時のことを考えたら、土休日は怖くて外出できない。
○土休日は仕事で終バスの時間が早くなり大変困っている。せめて終バスの時間を以前の時間(畦野発19:46)に戻してほしい。



★平日:245日 土休日:120日
年間約1/3が土休日ダイヤです。現行土休日の最終は畦野発18:34
不便なバスが私たちの生活や健康、安全安心等どんな影響があるのか検証し、市に伝えなければいけません。

○バスが不便になれば免許証返納しない人が増える。高齢者の交通事故が心配



★最近電動自転車の普及で免許証返納した高齢者が電動自転車に乗り換え、事故が急増しているとの報告があります。公共交通の充実は大事です

○西5丁目(奥行き)バス停を西5交差点方向に移動させてほしい。坂の途中にあり不便を感じている。

○西丁に住んでいる。畦野駅が最寄り駅でバスに乗る必要がない。東5丁目の第三自治会館で定期的なイベントでもあればバスに乗って行く!



★大至急検討します!!

みんなで考えようバスのこと!!



最近免許証を返納し、バスに頼って生活している。バスがあるから返納を決断した。バスが不便になったり、廃止になったら生活できない。

市は高齢者に対する支援をどう考えているのか? 高齢者に対する姿勢が厳しい



今日、大和バスの現状を聞いてびっくりした。こんなに危機が迫っていると思わなかった。住民にもっと知らせるべきだと思う

こんなに大和バスが大変だと思わなかった。もっと住民に周知してほしい

日頃は車移動しているが、できるだけバス利用をして、バスを守りたい!と思う



バスの利用者や女性を大和交通検討委員会のメンバーに入れたらどうか

なぜ平野行のバスが廃止になったのか理由を教えてください。平野のお医者さんに通院するのに不便になった...

川西市は大和バスをどうしようと考えているのか知りたい



★「大和バスに年間19万人乗らなかったら令和6年10月からのバスダイヤをどうするか」という議論が始まっています。

市は「補助金の上限は1500万円。補助金1500万円で運行できるダイヤにする」としています。諸物価の高騰は深刻で、コロナで思うように外出できない状況も依然として続いています。決して気楽にみんながおでかけできる状況ではありません。でも、バスでの通勤や通院、買い物など日々の生活は続いていきます。公共交通はすべての人が安心・安全な生活をするためのライフラインで、単に事業者の採算に任せるものではありません。大和に住む1万人が安心して日々の生活をおくり、「大和に住みたい」と新しい住民が大和に移り住む...それがまちの活性化につながります。市は補助金の上限を1,500万円としています。一方、大和交通検討委員会は「1番に考えるべきは、補助金の額ではなく、『まちづくり』の観点『大和の住民1万人が安心して暮らせる大和バス』の観点から協議したい」とし、市と地域との溝はいまだに埋まっていません。「持続可能な公共交通」と「持続可能な私たちの生活」そのバランスをどうするのか? 「結論ありきの協議ではなく、意見を出し合い、知恵を出し合い、議論し、互いの立場を理解し、そして最善の方法を見つけたい!!」それが私たちの願いです。

「大和バス井戸端会議」を開きました。

東3・4丁目	11名参加	令和4年11月10日(木)	大和第1自治会館
東5丁目	19名参加	令和4年11月14日(月)	大和第3自治会館
東2丁目	10名参加	令和4年11月28日(月)	大和第3自治会館
東1丁目	19名参加	令和5年1月19日(木)	牧の台会館
西5丁目	25名参加	令和5年2月8日(水)	大和サロン
西1~4丁目	10名参加	令和5年2月13日(月)	牧の台会館

(開催日のお知らせは該当地域のバス停留所および公園等に掲示)

グリーンハイツ

・大和の補助が市の方針として定められました。このことを基準にして当地域にも同様の補助を要請します。

・大和の補助を決定するにあたり、23万人の乗車数で、便数38便、1295万円の補助（コロナ禍により令和6年まで518万円加算）としていたが、昨年暮れ示された資料によると23万人が19.4万人に3.6万人下げられている。すでに承認された条件を更に変更するのは如何なものか？（補助金において大和地区38便、当地域6便を考慮）

・大和と当地域の対比

	大和	グリーンハイツ	備考
乗車数	23万人（計画）	48万人（昨年度実績）	
便数	38便	56便（昨年度から）	106加算
1便当乗車数・年	6052人（計画）	10000人（実績）	
阪急バスの収入	5060万円（計画）	10560万円（実績）	220円/回
補助金	1295万円	2700万円を要する	乗車人員比

・当地域の取り合えずの要望・・・昼間の便数を改定前の20分間隔に戻してほしい。

・補助路線の組み換えで、山下駅からGH経由川西能勢口行きを1年間でいいから暫定的に運行してほしい。

・平野駅のバス停ベンチを増やしてほしい。

・当地域のバス問題を地交会議に議題としてあげてもらいたい。（日野会長の方針）

以上

【本日の会議で述べたいこと】

*地域では自治会をとおして、サマーカーニバル、グリーンフェスタで無料チケットを配布し、バス利用の意識の向上を目指している。

*地域交通検討委員会では毎月地域の移動問題について議論し、市当局とも交渉を重ねている。幾つかの問題について市に対して要請し本年度中に回答を頂くことになっている。(大きくは、①昼間の30分間隔を20分に戻してもらう事、②新医療センター～能勢口行のバス路暫定的に開設要請・・・である。)

*市、及び返球バスに要請したいことは、GHのバス便数について先に示したように大和基準で行くとするならば、現在48便が65便まで17便の増便が可能(ただし8便の106コースはカウントに含まず)それでも9便の増便は是非お願いしたい。

*市は、このような事については公平の原則を守ってもらうことをようせりする。

GH地区と大和の比較

2023年2月

大和の採算ベース（コロナ禍の補助を加えて）				備考
①	年間乗車人数	19, 4	万人	
②	乗車運賃	220	円	
③	年間純粹の阪急収入	4,268	万円	
④	年間補助金	1,895	万円	全補助1500万円からGH 6 便分を減額し600万円を加算したもの
⑤	補助を加えた収入	6,163	万円	
⑥	補助後の乗車運賃	318	円	
⑦	便数	38	便	
⑧	1便当たりの収入	162	万円	補助後
2021年度のGHの実績				
①	年間乗車人数	48	万人	
②	乗車運賃	220	円	
③	年間純粹の阪急収入	10,560	万円	
④	年間補助金	—		
⑤	補助を加えた収入	—		
⑥	補助後の乗車運賃	—		
⑦	便数	56 48	便	大和に比すると65便まで増便可能（10560万円/162万円=65便）
⑧	1便当たりの収入	220	万円	

『阪急バス「平野山下線・大和団地線」 利用に係るアンケート』ご協力をお願い



市内を走っております阪急バスの「平野山下線・大和団地線」は市内唯一バスの購入及び運行経費の損失の一部を市が補助している路線ですが、経費の高騰や利用者の減少などの影響で赤字額が大きく増加している状況にあります（裏面参照）。

このような状況を受けまして、収支状況を改善するため令和3年9月、令和4年10月に減便等のバス再編を行っております。

本アンケートは、平野山下線・大和団地線を持続可能な運行とするため、沿線住民の皆様の利用状況を把握し、今後の路線維持の在り方を検討する基礎資料として実施するものです。

つきましては、できるだけ多くの市民の皆様の意見を頂戴したいと考えておりますので、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

【調査対象者】

16歳以上の阪急バス平野山下線・大和団地線の沿線住民の中から無作為に選び出した900人の方々です。

【回答方法】

A・Bどちらかの方法よりご回答ください。Aの回答方法を推奨しています。

A) インターネット ▶ 以下の URL または右の QR コードから回答。

URL : https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/cgi-bin/enq/formcms/fc_form.cgi?g=398&m=p
番号入力欄は別紙アンケート調査票の右上の数字をご入力ください。

B) 郵送 ▶ アンケートに直接ご記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストに投函。



【回答期日】 1月25日（水）までに、回答をお願いします。

ご本人が引っ越しや単身赴任、入院等で、不在の場合は破棄願います（代筆不要）

【お問合せ先】

川西市 土木部 交通政策課

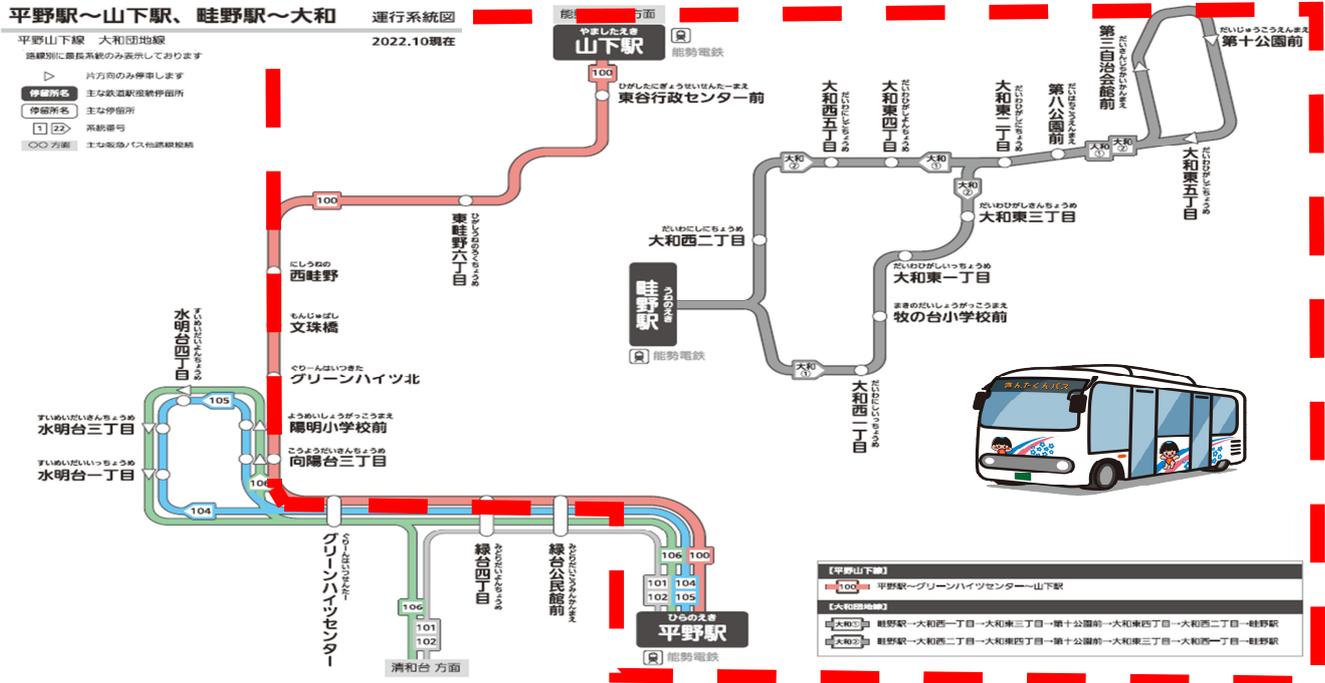
TEL : 072 (740) 1180

E-MAIL: kawa0175@city.kawanishi.lg.jp

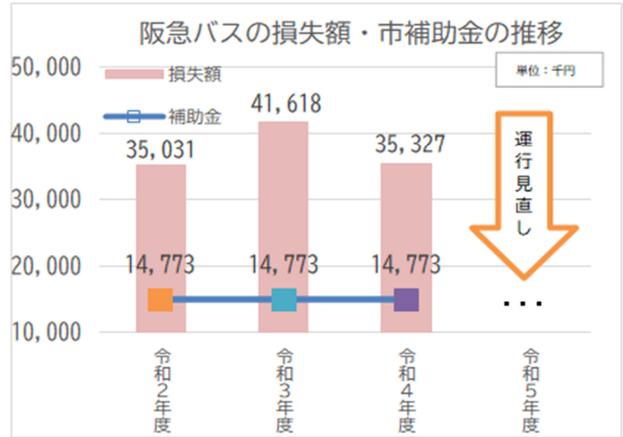
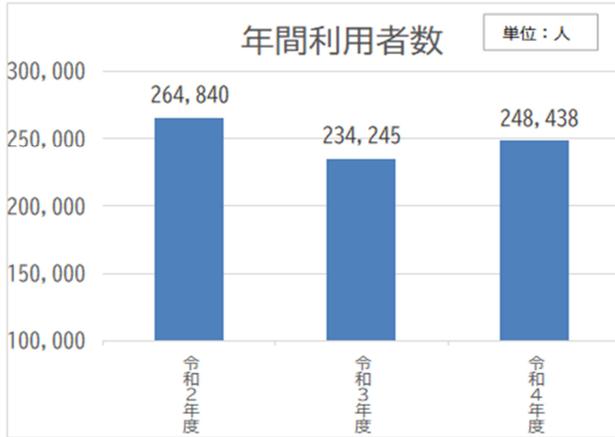
～ 阪急バス「平野山下線・大和団地線」の運行状況～

< 阪急バス平野山下線・大和団地線 路線図 >

赤枠部分が市内で唯一バスの購入及び運行経費の損失の一部を市が補助している路線



< 阪急バス平野山下線・大和団地線における利用者数、補助金の推移 >



令和3年度以前の補助金上限：14,773千円

補助金 14,773千円で令和4年10月1日現在の運行本数を維持するためには、**1便あたり約18人以上**乗る必要があります。

生活の中で身近にある公共交通は、利用しなければなくなってしまいます。将来に残していくためには、ひとりでも多くの方が利用し、みんなで守り維持していく必要があります。みんなで公共交通を守りましょう!!



阪急バス平野山下線・大和団地線 アンケート調査票

右の番号はお住まいのコミュニティ地区を判別するためのもので、個人を特定するものではありません
ウェブで回答される方はこちらの数字を番号入力欄にご入力ください

1

1. 最もよく行く外出先について

問1 日常生活で、最もよく行く外出先について、平日と土休日それぞれでお答えください。

平日	
主な行き先 (1つに○)	1. 川西市内(施設名:) 2. 川西市外(市町村名: 施設名:)
その目的 (1つに○)	1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 趣味・レジャー・娯楽 6. その他()
そこに行く頻度 (1つに○)	1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に数日 5. 月に1日未満
主な移動手段 (普段利用するもの全てに○)	1. 路線バス 2. 能勢電鉄 3. 阪急電鉄・JR西日本 4. 車(自分で運転) 5. 車(家族や知人の送迎) 6. バイク・原付 7. 自転車 8. 徒歩のみ 9. その他()

土休日	
主な行き先 (1つに○)	1. 川西市内(施設名:) 2. 川西市外(市町村名: 施設名:)
その目的 (1つに○)	1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 趣味・レジャー・娯楽 6. その他()
そこに行く頻度 (1つに○)	1. 毎週 2. 2週間に1日程度 3. 月に1日程度 4. 2~3か月に1日 5. 年に数日 6. 年に1日未満
主な移動手段 (普段利用するもの全てに○)	1. 路線バス 2. 能勢電鉄 3. 阪急電鉄・JR西日本 4. 車(自分で運転) 5. 車(家族や知人の送迎) 6. バイク・原付 7. 自転車 8. 徒歩のみ 9. その他()

2. 阪急バス平野山下線・大和団地線についてお聞きします

問2 現時点で「阪急バス平野山下線・大和団地線」をどの程度利用しますか。(1つに○)

1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に数日
5. 月に1日未満 6. ほぼ利用しない・利用したことがない

問3 問2で6以外を回答された方へ どのような目的で利用しますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院
5. 趣味・レジャー・娯楽 6. その他()

問4 問2で6以外を回答された方へ よく利用される区間はどこですか。

()バス停~()バス停

問5 令和4年10月から阪急バス平野山下線・大和団地線のダイヤ・運賃・ルートの見直しを行いました。この見直しに伴い、令和4年9月と10月を比較して利用頻度は変わりましたか。(1つに○)またその理由を教えてください。

1. 利用頻度が増えた 2. 利用頻度は変わらない 3. 利用頻度が減った
4. 全く乗らなくなった

<理由>

問6 あなたはバスの運行がどのように変われば、利用頻度が増加しますか。(1つに○)

1. 便を増やす 2. 停留所を増やす(場所:)
3. ルートを変える(ルート:)
4. 利用頻度は変わらない 5. その他

<利用頻度は変わらない理由、その他意見等>

問7 問6で4以外を回答された方へ あなたはどの時間帯にバスが運行されれば利用頻度が増加しますか。

例:(グリーンハイツセンター),(山下駅)行 PM 10時00分頃

【平日】乗車するバス停:() ()行 乗車する時間帯: AM・PM ()時()分頃

【土休日】乗車するバス停:() ()行 乗車する時間帯: AM・PM ()時()分頃

3. 今後の公共交通(電車、バスなど)のサービスについて

全国的に、利用者の減少で鉄道や路線バスが廃止や減便されており、阪急バスなどの市内の公共交通においても、生活様式の変化による利用者の減少や燃料費の高騰で、減便などが進んでいる状況です。川西市では、阪急バスの平野駅～多田グリーンハイツ地区～山下駅、大和地区間に対する運行補助を行っております。

問8 このまま路線バスの利用者が減少していくと、将来必要な時、利用したくても路線バスがなくなっている可能性があります。路線バスの利用についての考え方をお聞かせください。(1つに)

1. 現在も利用しており、将来のために引き続き利用する
2. 今は利用していないが、なくなったら困るため、できるだけ利用したい
3. なくなったら困るが、今は利用しない 4. なくなってもかまわないので、今後も利用しない
5. その他()

4. 公共交通(電車、バスなど)へのご意見等をお聞かせください

5. 最後に、あなた自身について

問9 年齢(1つに○)

1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳
6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75～79歳 10. 80歳以上

問10 自宅の町丁目 ()()丁目 例:(大和西)(1)丁目

問11 自動車運転免許の保有(1つに○)

1. 持っていて運転している(バイク・原付含む) 2. 持っているが運転しない
3. 持っていたが返納した 4. 持っているが返納を考えている
5. 取得していない

問12 自由に使える移動手段(あてはまるもの全てに○)

1. 車(自分で運転) 2. 車(家族の送迎) 3. バイク・原付
4. 自転車 5. なし 6. その他()

お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

このアンケート用紙に直接記入した方は、同封の返信用封筒に入れて、ポストへ投函(切手不要)してください。ウェブ回答が完了した方は、このアンケート用紙・封筒は破棄してください。